

平成 19 年 6 月 29 日

「太田川ダムの耐震強度に関する質問状 NO.1」に対する回答

日頃より静岡県河川行政に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

平成 19 年 6 月 11 日付けで送付されました質問状に対して下記のとおり回答します。

記

[質問 1]

先日の回答は公文書と認識してよろしいか

[質問 1 に対する回答]

平成 19 年 6 月 8 日付けの回答は公文書として送付したものです。
本回答についても公文書です。

[質問 2-1]

5 月 12 日の事業説明会での説明内容はどのようなものでしたか

[質問 2-2]

住民が知りたいことに対して適切な回答と思えますか

[質問 2-1、2-2 に対する回答]

説明内容は要約すると以下のとおりであったと承知しています。

(要約)

- ・ マグニチュード幾つものものに耐えられるかということについての資料は持っていない。
- ・ 太田川ダムの耐震設計は震度法を採用しており、ダム自重の 0.15 倍の荷重を掛けて設計している。
- ・ 震度法で設計されているダムでは、これまでに地震時に致命的な損傷は受けていない。
- ・ 最近、東海地震などの考えられる最大の地震に対してどうなるか解析する手法が確立されてきている。直轄のダムでは試行的に実施されているので、太田川ダムでもシミュレーション計算の精度を確認のうえ、検討を行いたいと考えている。

事業説明会における説明内容については、太田川ダムの耐震設計が法に基づく基準にしたがい、設計されていることを説明したものであり、説明内容は適切なものであると考えています。

しかしながら、平成 19 年 6 月 8 日付けの回答にも示しましたように、わかりにくい点がありましたら、質問をいただければ説明したいと考えています。

[質問 3-1]

想定される東海地震時のダムサイトでの震度、加速度はいくつですか

[質問 3-2]

太田川ダムの場合のレベル 2 地震動はどのようなものか

「大規模地震に対するダム耐震性能照査指針（案）」が定める照査用下限スペクトルより大きくなりますか

[質問 3-3]

太田川ダムの場合のレベル 2 地震動は誰がいつ決めるのですか

[質問 3-4]

太田川ダムのレベル 2 地震動は決まり次第公開されますか

[質問 3-5]

ダム本体の耐震性能照査は誰がいつまでに実施するのですか

[質問 3-6]

安全率が 1 を下回る結果となったときは、どのようにしますか

[質問 3-1 から 3-6 に対する回答]

平成 19 年 6 月 8 日付けの回答でもお答えしましたが、県では更に万全を期すため、今年度、平成 17 年に国土交通省が策定した「大規模地震に対するダム耐震性能照査指針（案）」に基づき安全性の確認を実施します。

現時点では照査を実施していないため、具体的な内容については、お答えできませんが、照査の結果は、まとまり次第速やかに県民の方々に情報提供します。